



県政報告 Vol.20

2023.7月発行



愛知県議会議員 神谷まさひろ

「日記で綴る県政報告Vol.20」をお届けします。2期目の当選をさせて頂いて以来初めての発行となります。この間、5月に臨時議会、そして6月には定例会が開催されました。それらの内容全てと、日頃の議員としての活動についてもお知らせしたいのですが、どうしてもボリュームが多くなってしまうため、今回は6月定例会の前半部分をお伝えして後半については次回発行(7月末)の「Vol.21」でお伝えしようと思います。ぜひともご一読頂き、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。



5.22 月

当選後初の臨時議会 委員会配属が決定しました

4

月9日に当選して以来初めて、全ての議員が本会議場で一堂に会しました。先ず始めに全員協議会が行われ、議員と理事者(当局)の自己紹介、その後、5月臨時議会が行われました。

正副議長選挙が行われ議長には石井芳樹氏(自民党:長久手市)副議長にはいなもと和仁氏(自民党:中川区)が選任され、私は県民環境委員会と子ども・子育て対策特別委員会の配属が決まりました。

補正予算では「国の物価高克服に向けた追加策」に呼応して実施する事業などの一般会計178億532万円が可決しました。



5.23 火

「スマートシティ」刈谷市の提案が選定されました

愛

知県では、ICT等の新たな技術を活用し、急速な高齢化や環境問題など様々な地域課題の解決を図る「スマートシティ」の取組に力を入れており、昨年度から県内市町村とICT等の先端技術を持つ民間事業者等が連携したモデル事業を実施しています。

今年度、県内市町村からモデル事業の提案を募集したところ、7市町村から提案があり、「先進性や独自性」「他市町村への横展開の可能性」等の視点から総合的に評価した結果、刈谷市・日進市・幸田町の3市町の取組が選定されました。6月上旬から順次事業をスタートする予定になっています。刈谷市の提案を紹介しますと・・・

歩行動画をAI解析し、歩行姿勢の評価やアドバイスを行うことで、健康づくりに消極的な若い世代の意識改革にアプローチする取組です。また、姿勢に関するミッション等を配信する健康管理アプリを活用し、日常から歩行姿勢の改善と健康づくりの意識向上を促すというものです。

今後この3つのモデル事業を通じて成功事例の創出を図るとともに、市町村職員を対象とした成果報告会の開催など横展開を進めていくことで、地域の課題解決に向けた「スマートシティ」の取組を県内全域に広げて行きます。

【企画提案概要図】

刈谷スマートウェルネスプロジェクト2023



【取組内容】歩行姿勢による健康づくり意識変革へのアプローチ

- ①現状の姿勢を確認することで自身が正すべき点を専門家のアドバイスにより把握
- ②日常においてアドバイスを意識して姿勢よく歩く運動を継続
- ③再度姿勢を確認することで、その変化を実感することで意識変革

■ 実証の流れ



刈谷市提供資料

5.26 金 「安全運転管理協議会」の総会に出席しました

5

月に入って警察関係の各種総会がいくつか行われています。「防犯協会連合会」「交通安全協会」そして今日は「安全運転管理協議会」の総会が行われ来賓として出席しました。



感謝状の贈呈や優良自動車運轉者表彰に続いて、安全運転管理モ

デル事業所の委嘱が行われた後、議案審議が行われました。

昨年は交通事故死者数137名で全国ワースト2、今年も悲しいことに既に62名で昨年よりも6名も増加しています。刈谷警察署長の挨拶の中から交通事故の特色を紹介しますと・・・「交差点での事故が約60%・時間は午後4時から午後10時・被害者が高齢者である場合が約50%・原因は速度超過」ということです。一人ひとりが交通安全に向けた強い意識を持って、安全運転に努めて行きましょう。

6.11 日 雨の中 消防操法競技大会 お疲れ様です

生

憎の雨降りですが、刈谷市総合運動公園において『令和5年度第40回刈谷市消防操法競技大会』が行われました。

競技に入る前に10月に東京で行われる『女性消防操法大会』に出場する刈谷市チームの紹介と操法披露がありました。

雨の中団員の皆さんが頑張っておられるのに、途中で退席するのは失礼だと思って最後まで観戦していました。今年は21分団中20の分団の事前訓練に激励に伺いましたので、団員の皆さんに対する思いが特に強くありました。

結果は、優勝が第19分団(東境)、準優勝が第10分団(小垣江本郷)、3位が第9分団(高須)となりました。優勝した第19分団の操法は誰が見ても秀でていると感じる内

容で、審査項目にある「迅速な行動・動作・チームワーク・確実な動作」という点ではピカイチだと思いました。

「基本の動作を繰り返し体に覚えこませることで、万が一の時にはその動作を自然に行うことが出来るようになる」・・・操法というのはそのためにあるのだと私は思っています。頻発する地震や豪雨、起きて欲しくはありませんが万が一の災害の時に市民の安全を守るために精進して下さい。いる消防団の皆様には心から敬意を表すると共に感謝申し上げます。



6.15 木 元農林水産大臣 山田正彦先生から嬉しい報告が届きました

本日、国会で超党派の「オーガニック給食を全国に実現する議員連盟」が設立されました。早朝8時には衆議院第1議員会館第3会議室に続々と与野党の国会議員が勢揃い。それに農水省・文科省の幹部官僚、先日成立した全国オーガニック給食協議会の代表理事千葉県いすみ市の太田市長、副代表のJA常陸の秋山組合長など関係者が続々と集まりました。

この議員連盟は共同代表として自民党の坂本議員、立憲民主党の川田議員、副代表に公明・維新・国民民主・共産・れいわ各党から代表者が選出されました。全ての党が参加しての議連は初めて

ではないでしょうか。

いすみ市の太田市長が「今年60キロ当たりのコメの価格が1万1000円のところ市では2万円で購入。その差額を自主財源で賄っている」と説明され、最後まで出席した農水大臣藤木政務官が「これからの農業はコメをはじめ有機栽培を推進していきたい」と答えるなど熱のこもった議連の設立総会になりました。大いに期待できそうです。

来年の通常国会までには、超党派の議連で学校給食法の改正案を検討して、是非とも無償かつオーガニック学校給食を実現してもらいたいものです。

私

も先の県議会議員選挙では、「給食費の無料化」と「オーガニック給食の推進」を訴えていたので、国のこの動きは心強いです。実現に向けて大きな一歩です！



6.19 月

6月定例愛知県議会が開会しました

刈

刈谷市議会6月定例会は今日が最終日のようですが、愛知県議会の6月定例会は今日から開会です。



今議会には補正予算として総額22億4216万円、会計別では一般会計で21億7284万余円、企業会計で6931万余円の増額補正、それ以外の議案としては条例関係議案が8件、その他の議案が9件上程され、大村知事より提案説明が行われました。

その中から、「アジア競技大会・アジアパラ競技大会の会場変更等について」と「6月2日の大雨による被害について」を紹介します・・・

アジア競技大会・アジアパラ競技大会の会場変更等について

- 組織委員会が提案する競技については、野球・ソフトボールと空手が選定されたので、この2競技をアジア・オリンピック評議会(OCA)に提案する
- 5月末にレインボープールは競泳と飛び込みの会場に適さないというOCAとしての最終的な判断を受け、東京都の小池都知事に協力を要請した上で、仮決定会場を東京アクアティクスセンターへ変更した
- 水球については、ウォームアッププールが狭く、水深も浅すぎることなどから、春日井市温水プールからレインボープールに変更した
- 馬術競技についても、馬の防疫対策や国際規格に適する施設整備費などの課題を踏まえ、愛知県森林公園からJRA馬事公苑へ変更した
- 選手村については、先週OCAが来訪し、選手村として利用するホテル等の視察をした
- 愛知・名古屋でのアジア競技大会、アジアパラ競技大会は、華美・過大なスポーツ大会とするのではなく、会場の仮設整備費等に多額の費用をかけず、既存施設を有効活用することで、経費の抑制を図る

6月2日の大雨による被害について

- この大雨では、県東部において2度にわたり線状降水帯が発生し、降り始めである6月1日午後10時から3日午前5時にかけて、田原市で460ミリ、豊橋市で426ミリ等の猛烈な雨が観測され、平成12年の東海豪雨や平成20年8月末豪雨に匹敵する記録的な大雨となった
- 豊橋市、豊川市において、直ちに命を守る行動が求められる「緊急安全確保」が発令されたほか、三河地域を中心に広い地域で避難情報が出され、死者1名、軽傷者2名の人的被害、東三河地域を中心に全壊を含む1000棟を超える住家被害が発生した

- 公共土木施設については、2河川で破堤、17河川で越水、49か所で道路損壊、37か所で土砂崩れが確認された

一方、刈谷市においては避難指示等も出され、避難所には66世帯130人の方が避難され、道路の通行止めも10か所ありましたが、河川については越水等の大きな被害もなく済みました。

境川・逢妻川・猿渡川といった河川については、写真のように「中堤撤去」「河床掘削」「洪水調節池整備」「護岸工」「河道拡幅工」などが計画的に行われており、そうした対策も功を奏したのではないかと思います。

境川・逢妻川(知立建設事務所)



P7

境川・逢妻川(知立建設事務所)



P6

河床掘削工 施工状況

中堤撤去 (R4完了) 施工状況

猿渡川(知立建設事務所)



P8

河床掘削工 施工状況

6.22 木

警察での手数料 キャッシュレス決済を推進します

6

月定例愛知県議会一般質問。今日は自民党4名、あいち民主2名、公明党1名の議員が登壇しました。

質問の中で「警察での各種手数料におけるキャッシュレス決済の推進について」今後の取り組みを質す質問がありました。答弁の概要を紹介すると…

- 警察行政における手数料の納付においても、キャッシュレス決済を導入し、多様な納付方法を提供することが県民の方々の利便性の向上につながるものと考えている
- 県警察の取組については、警察本部、警察署のほか、運転免許試験場、東三河運転免許センターにおいて、来年4月からキャッシュレス決済を導入する準備を進めている
- 具体的には、運転免許の更新手数料や自動車保管場所証



(写真: 県警本部長)

明の申請手数料を始め、各申請窓口で取り扱う全ての警察手数料について、現状の証紙による納付に加え、クレジットカード、交通系ICカードなどの電子マネー、QRコードなどのコード決済でも納付できるようにするもので、今年度末までに、必要な機器等を整備することにして

6.23 金

県立の中高一貫校 その選抜方法は？

今

日も一般質問で7名の議員が登壇しました。質問の中で「県立中高一貫校の入学者選考について」の質問がありました。地元の刈谷高校にも2025年4月に附属中学が開校する予定で、その選抜方法については関心の高いところですので、当局の答弁内容を紹介します…

①入学者選考のねらい

探究学習重視型の中高一貫校では、探究的な学びに必要な資質や能力を測ることをねらいとして、適性検査としての筆記試験や面接による入学者選考を行う

②適性検査について

小学校教育で身に付けた知識や技能に基づいて、思考力、判断力、表現力、課題解決力など、探究的な学びに必要となる力を、総合的に測って行く。過度な受験競争を招かないよう、特に高度な知識やテクニック、知識の量を求めるような出題は行わないことにする

③面接について

例えば、6年間探究的な学びを続ける意欲や、多様な考え方を尊重しながら物事に取り組もうとする共感力、問いを立て課題を発見する力などの資質や能力について見て行くことにする

④児童や保護者への情報提供について

県立中高一貫校における入学者選考について広く知って頂くため、まずは7月末頃を目途に、中高一貫校に来てもらいたい

児童のイメージや適性検査や面接のねらいなど、入学者選考の概要を公表する。その後、10月には実施日程を含めたより具体的な内容を公表する。

⑤学校での説明会について

11月には、入学を希望する児童と保護者を対象とした説明会を学校において開催する。この説明会では、それまでに公表した入学者選考に関する情報に加えて、各学校のカリキュラム・部活動・学校給食などの具体的な内容について直接、児童や保護者にお伝えする。

⑥サンプル問題について

12月頃に、適性検査のサンプル問題を公表する予定。

県立の併設型中高一貫校の設置は、本県初の取り組みです。県立中高一貫校が目指すものや、学校の概要について、関係者の皆様にしっかりと伝えし、児童や保護者が適切に進路を選択できるように願っています。

